鹿島御児神社

一乃鳥居

2021

令和の大改修

記録集

鹿島御児神社
禰宜：窪木好文
権禰宜：窪木浩枝
令和三年五月二十二日

感謝

八拾六年間、伝統そのままに

「祈り」と「感謝」を鳥居に込めて

鹿島御児神社　宮司 窪木兼忠

石巻日和山鎮座　鹿島御児神社　について

　鹿島御児神社は、宮城県石巻市に鎮座する神社である。

旧社格は県社（昭和１０年に列格)。延喜式内社の陸奥国百座のうちの一座である。

一の鳥居は県社に列格した際に建立された。

祭神

武甕槌命、鹿島天足別命（かしまあまたりわけのみこと：武甕槌命の御子神）の親子二神を祀る。

由緒

　武神を祭る牡鹿十座の一つ鹿島御児神社（窪木家・旧県社）がその頂上に建立され、元来は 5 月 15 日が祭礼の日となっています。社伝によれば、宝亀 11 年（780）12 月陸奥鎮守副将軍・百王俊哲の奏上が鎮座の起源と伝えられ、中世には奥州総奉行葛西氏の城「石巻城」があったと考えられています。

祭神の武甕槌命と鹿島天足別命は親子神であり、武甕槌命は香取神宮の祭神である経津主神とともに、鹽竈神社の祭神である塩土老翁神の先導のもと、東北地方の平定を行ったとされています。

　御子神の鹿島天足別命は、経津主神の御子神である阿佐比古命と共に東夷征伐と辺土開拓の命令を受けて、海路を下向して奥州へとやってきたと言われております。

天足別命と阿佐比古命の乗った船が現在の石巻の沿岸へ到着し停泊した時､錨が石を巻き上げたことから「石巻」とこの地を呼ぶようになったという伝承が残されています。

　天足別命を祀る神社は、宮城県から福島県の沿岸部にかけて数社鎮座しております。

福島県南相馬市鹿島区に鎮座する延喜式内社の鹿島御子神社には天足別命と第六天魔王に関する言い伝えがあり、同じく延喜式内社である宮城県亘理郡亘理町の鹿島天足和気神社や富谷市の鹿島天足別神社は、天足別命は

祭神ではないものの神社名に「天足別（和気）神」という名前が入っており、いずれの神社も上記の『三代実録』に「陸奥国に鎮座する鹿島大神苗裔を祀る三十八社」として記録されております。

なお、石巻市折浜地区には、香取伊豆乃御子神（阿佐比古命）を祀る延喜式内社の香取伊豆乃御子神社が鎮座しております。

鹿島天足別命は倭建命の東方遠征に同行した臣狭山命（中臣氏の祖）や浮田国造（吉弥侯部祖）によって広がったと見られ、奥州における大和民族の開拓事業の先駆者・地方開発の祖神として主に吉弥侯部氏らによって崇敬されており、古くから鹿島御児神社は仙台藩主などの権力者から社領・宝物の寄進や社殿の修築が行われてきました。明治 7 年（1874 年）には村社に列し、大正 10 年（1921 年）には郷社、昭和 10 年（1935 年）には県社に列しております。

鹿島御児神社は武神である武甕槌命と天足別命を祀るため、勝利の神として職業繁栄・悪疫除け・鬼門除け・安産の神・海上安全・交通安全祈願の守護神として信仰されております。

震災耐えた日和山の鳥居、解体へ　宮城・石巻

　宮城県石巻市日和が丘２丁目の鹿島御児神社の鳥居が、老朽化と度重なる地震の影響で解体される見通しになった。鳥居は太平洋を望む日和山の頂上にあり、周辺は市の観光スポットとしても親しまれている。１５日に開く総代会で正式に決める。

　鳥居は１９３５年に設けられ、鉄筋コンクリート製で高さ約５メートル。東日本大震災の揺れにも耐えたが、強い潮風や雨、余震で徐々に傷みが目立ってきたという。石巻市で震度５強を観測した今月１日の地震などで鳥居の一部が破損し、コンクリート片が剥げ落ちた。専門家の調査で倒壊の可能性があることが分かった。

　鳥居は神社が所有しているが、付近の広場は行楽客の立ち入りが多いため、地続きの日和山公園の一部として市が借り受けている。市は現在、鳥居の周囲を立ち入り禁止にしている。

　高台にある広場は大きな地震が起きれば多くの市民らが避難する。窪木好文禰宜（ねぎ）（４９）は「人々を守護する神社がけが人を出すわけにはいかない。鳥居は神社の顔でもあるので、クラウドファンディングなどの活用も視野に資金調達に努め、再建を考える」と話す。

出典：河北新報　2021 年 5 月１３日掲載

令和参年五月十五日 総代例大祭

令和三年五月二十二日

鳥居を解体、撤去　一日も早い再建目指す　石巻・鹿島御児神社

老朽化や度重なる地震の揺れなどにより損傷が激しくなっていた石巻市日和が丘２丁目の鹿島御児神社の鳥居が５月２２日、解体・撤去された。

解体は、同市の遠藤興業（遠藤正樹社長）が無償で行った。午前に安全祈願祭を開いた後、重機で上部から解体を始めた。午後には鉄筋コンクリート製、高さ約５メートルの鳥居全体の撤去を終えた。

作業前には、鳥居の柱部分に感謝を伝える垂れ幕を付けた。さらに長年、七五三などを通し子どもたちの健やかな成長を願う家族を見続けてきたことを思い、３匹のこいのぼりを泳がせた。

作業に当たった遠藤興業の担当者は「いつ倒壊してもおかしくない状態だった」と指摘。遠藤社長は「社業の発展を通じて社会貢献という経営理念に基づき、感謝の意を込めて作業した」と話す。

撤去した場所には鉄板が敷かれているが、安全が確保され次第、鳥居があった広場を再び、市民や行楽客に開放する。

禰宜（ねぎ）の窪木好文さん（４９）は「無償で作業していただき、感謝しかない。事故が起きる前に対処できて、ほっとしている。鳥居がないとやはり物足りない。一日も早く、後継となる鳥居を設置したい」と望む。

撤去された鳥居は、８６年前の１９３５年に建造。東日本大震災の激震にも耐えたが、老朽化が進み、今年に入り繰り返し発生した地震が追い打ちを掛けた。

出典：河北新報　2021 年 5 月 25 日掲載

石巻日和山鎮座　鹿島御児神社 一之鳥居解体清祓いの儀

式　次　第

一、開　　式

一、神　　事　祭主「石巻日和山鎮座　鹿島御児神社」

修祓の儀
降神の儀
献饌の儀
祝詞奏上
清祓いの儀
玉串奉奠

御奉奠者名

遠藤興業グループ	総　　帥	遠藤　信義　殿
鹿島御児神社	宮　　司	窪木　兼忠　殿
遠藤興業株式会社	代表取締役	遠藤　正樹　殿
鹿島御児神社	責任役員	鈴木　武　殿
鹿島御児神社	総代表	尾形　盛男　殿
遠藤興業株式会社	本部長	三浦　和也　殿
前衆議院議員		勝沼　栄明　殿
宮城県議会議員		本木　忠一　殿

撤饌の儀
昇神の儀
閉式の辞

一、閉　　式

季節の鹿島御児玉神社「一之鳥居」

２０１３年元旦

「初日出づ五彩に波を躍らせて」

春「満開の桜に誘われて」

夏「潮風が薫りゆく日和山」

秋「秋風の吹きにし日より」

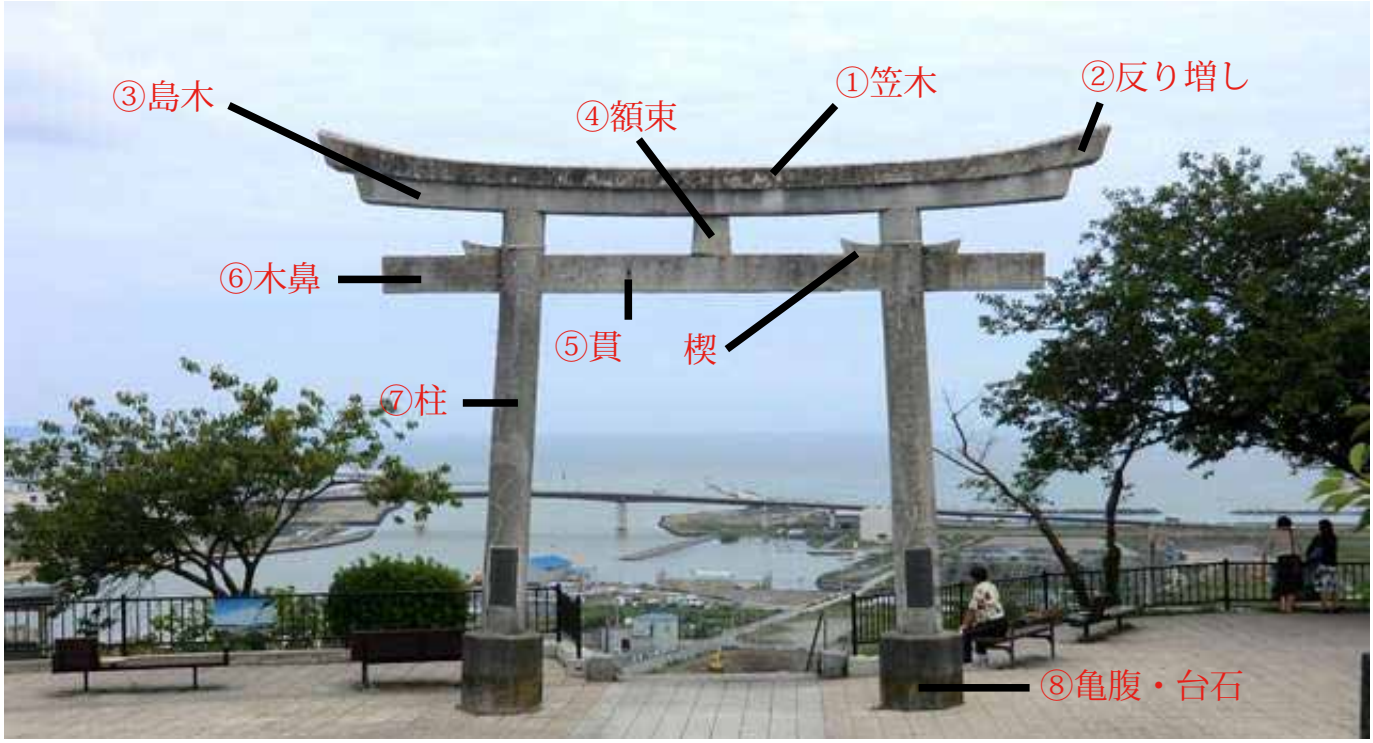
初冬「七五三詣で」

鳥居について

私たちが神社にお参りをするとき、まず鳥居を目にします。鳥居は神社を表示し、また神社の神聖さを象徴する建造物ともいえます。鳥居は神社の内と外を分ける境に立てられ、鳥居の内は神様がお鎮まりになる御神域として尊ばれます。

鳥居の起源については、天照大御神あまてらすおおみかみが天の岩屋にお隠れになった際に、八百万の神々が鶏を鳴せましたが、このとき鶏が止まった木を鳥居の起源であるとする説や、外国からの渡来説などがあります。

鳥居は、その材質・構造も多種多様で、それぞれの神社により形態が異なります。一説には六十数種類の形態があるともいわれており、**鹿島御児神社は、鳥居上部の横柱の両端が上向きに反っている明神鳥居であります。**



①笠木

鳥居の最上部に位置する横木。③島木とあわせて笠木と称する場合も。

②反り増し

笠木や島木が外にいくほど幅に増しがあること。

③島木

笠木の下に密着する形で設けられる横木。

④額束

鳥居中央にあって島木と貫に挟まれた短い柱。

額束に取り付けられ、社名や祭神などを記した額を「扁額」（へんがく）といいます。

⑤貫

笠木、島木から少し離れた下方で左右の柱を連結する横木。

⑥木鼻

笠木、島木、貫などの木の端（はな）。

⑦柱

柱に傾きをつけることを「転び」といいます。

また、柱を上部にいくほど細くすることを「スボリ」といいます。

柱脚部に設けられた、ある程度の高さのある根包を「藁座」（わらざ）または「根巻」（ねまき）といいます。

⑧亀腹 or 台石

柱の根元に設けられた円形の台座。その形から饅頭（まんじゅう）とも。形状によっては単に台石とも。

一之鳥居　撤去前準備

令和３年５月１８日、一之鳥居を撤去するには境内から石段を下り日和山中央広場に資器材を搬入しなければならない。

石段を保護するために山砂をフレコンバックに詰め敷き詰める分けであるが、山砂の容量が違うフレコンバックを３種類用意。石段の形状に合わせ大中小のフレコンパックを巧みな技で敷き詰めることにより平らなスロープを形成致しました。この養生は重量 20 ｔを超える重機が走行しても問題の無い強度となっています。

神聖な境内での作業。坂路とするために敷き砂で清め固めさせて頂きました。

遠藤総帥：すべての安全は「段取りが要」であり、「段取りが全て」である。

復元再建立のために

令和３年５月１９日、一之鳥居に仮設足場を設置いたしました。
この仮設足場は、撤去するにあたり躯体構造を確認するためと、再建時に使用する設計データを保管するために設置しました。

鳥居の竣工年は昭和１０年であると銘板から読み取れました。

昭和初期の建設技術を想像し、見た目は鉄筋コンクリート製の鳥居の様子であるが、鉄骨鉄筋コンクリート製の可能性が高い。当時は鉄骨の代替えとして「鉄道もしくはトロッコ用のレールが使われる事が多かった」と遠藤氏は語る。

鳶頭としての経験と実績で、８６年前に製作された鳥居を安全に取り壊す術を確立していく。

笠木・島木・額、貫木（※鳥居についてを参照）は一体にてコンクリートを成型した構造であり、木鼻については不明である。
取壊し作業を行いながら構造を確認し、慎重にかつ安全に取り壊さなければなりません。

窪木宮司夫妻と遠藤総帥

令和３年５月２２日　鹿島御児神社　一之鳥居の取壊しを行う

鳥居の解体に先立ち、遠藤総帥より作業員へ「作業確認及び安全事項」の申し送りがあり、石巻のシンボルである日和山の鳥居に敬意を祓い、先人が作ったこの鳥居の構造を確認しながらの解体になる旨の説明があった。

上：遠藤信義総帥　下左：鹿島御児神社　窪木兼忠宮司　下右：遠藤正樹代表取締役

作業開始の前に千葉和幸土木部長と大平義彦土木部次長による清め祓いを行う。

鳥居再建へ　石巻・鹿島御児神社、奉賛金募る　年内完成目指す

石巻市日和が丘２丁目の鹿島御児神社は、老朽化などで解体した鳥居の早期再建を目指し、１０月末まで再建費用に充てる奉賛金の協力を呼び掛けている。

鳥居は神社のある日和山山頂に１９３５年に設けられ、高さ約５メートルの鉄筋コンクリート製だった。老朽化が進み、石巻市で震度５強を観測した５月１日の地震などで一部が破損。倒壊の可能性もあることから、５月２２日に解体・撤去された。

神社は同じ場所に新たな鳥居を設置する考え。事業費は１５００万円を見込み、今後クラウドファンディングも活用する予定。鹿島御児神社の窪木好文禰宜（ねぎ）（４９）は「なるべく早く再建し、来年は新しい鳥居で新年を迎えたい。協力をいただけたらありがたい」と話す。

出典：河北新報　2021 年７月２日掲載

福猫の「シャム夫」くん

鳥居再建に向けて「御神木」伐倒祭

令和３年７月１６日、鳥居再建は鉄筋コンクリート製施工するが、そのコンクリート型枠に使用する木材を秋田県大仙市土川地内の山林より、御神木として伐倒する事となった。

令和３年６月１２日、伐倒祭の前に山主「佐々木　昭孝」氏による神木斧始祭を行った。

１か月後の伐倒に先立ち、巻き枯らし方「環状剥皮」を採用。

立木の樹皮と形成層の部分を環状に剥皮し，対象木を立木のまま枯らす方法である。

さて、この「巻き枯らし」。

〝樹皮を剥くことで､形成層が死んで､枯れる。〟　〝樹皮を剥ぐことで､形成層が損傷し､養分が行き届かなくなって枯れる〟

などと言われますが、実は違います。

枯れる本当の原因は、「辺材が乾燥するから枯れる」です。　辺材は水分を運ぶという役割を持っています。

令和３年７月１５日、伐倒される材は、樹齢１００年を超える秋田杉。午前九時、ご当地の秋田諏訪神宮（大仙市）宮司代務者　齋藤則迪様の司式により、厳粛な雰囲気の中、祭典が行われ、清祓いの後、伐採人（豊島林業）により本伐採が行われ、午前十一時半、樹齢約一一五年、樹高四十五メートルを超える大きな杉が豪快に伐り倒されました。
切り株（本）に斧を入れ、先（末）の枝を挿す「株祭り」を行いお祈りしました。

仙北森林組合　所長　小笠原　健

山主：佐々木　昭孝

三浦㈱㈱　代表取締役　三浦　剛

豊嶋林業　代表　豊島　寿永

㈱秋田県南重機　代表取締役　高橋　房孝

KOMATSU

令和３年７月２９日　石巻到着

Zest

秋田県大仙市で伐倒された長さ６メートルにおよぶ原木は、石巻市和渕に所在する㈱ホーム建材店　鈴寛工場にて製材される。

一定期間屋外で自然乾燥を行います。

丸太の皮むき

（傷や石が木材につかないよう丸太の皮むきをすることで、帯鋸を傷めることを予防できます。今回は人の手で丁寧に皮むきを行います。）

丸太の木取り

（製材前の重要なステップとして、木取りがあります。木取りは、裁断手順や採材の位置などを決定することを意味します。木取りは、台車と呼ばれる送材車付帯のこ盤で行われます。丸太の木取りにおける製材工程には、長年の経験や知識が必要になります。）

丸太の大割り

丸太の木取りをした後には、帯鋸製材機を用いて大割りします。製材における大割りの方法には地域によって異なる場合もあり、吉野地方では「タイコ挽き」と呼ばれる製材の手法が有名です。丸太の性質を見極め、無駄のない製材作業が行えるよう大割りします。切り端となる部分も箸材などにし、丸太を余すところなく使用しましょう。

挽き割り

挽き割りと呼ばれる製材行程では、木材を平割りや正割りにすることを意味します。正割とは断面が正方形になっており、平割では断面が長方形になっていることが特徴的です。挽き割り類と呼ばれる木材は、幅が重さの 4 倍未満で材の厚さが 7.5cm 未満のものとなっています。

板割り

板割りと呼ばれる製材行程は、大割り後に生じた周辺材を用途別に板割りすることです。出来高の割合を意味する歩留まりの良し悪しは、板割りによって大きく左右されます。

製材・桟積み・燻煙乾燥・桟ばらし・寸法、含水率、材面検査を受けた後、型枠材と使用する部材として加工する。

灰汁抜き・自然乾燥

板をカットする製材行程を終えると、木材の灰汁抜きと自然乾燥をします。

その後燻煙乾燥機に入れ質の良い木材に仕上げます。

木目表しコンクリート柱を製作する前に思考する

令和３年６月１４日、鳥居再建と同じ工法でテストコンクリート柱を製作した。
今回の鳥居柱も鉄筋コンクリート製で作製することは決まっていたが、表面仕上げの方法に鳥居再建総監督である遠藤信義氏に妥協はなかった。

樹齢１００年を超える秋田杉を御神木として迎え、その材を型枠に使用するからには軌跡を残さなければならない。無機質なコンクリートに浮き上がる木目の美しさ。杉の柔らかさを活かした杉板本実型枠コンクリート工法を採用。

浮造り加工（木目を残した表面加工）した杉板で型枠をつくってコンクリートを固めるので、コンクリートの表面に木材の模様が付くというものである。
テスト型枠では浮造り（うづくり）加工と呼ばれる木材の表面の凹凸を浮き立たせる表面加工を施した杉板と、加工しない杉板を使用して行った。

表面加工を施したを型枠は、表情がかなりはっきりとした。

＊浮造り加工とは、木材の表面をブラシで削ることで、木材の硬い部分（＝冬目）は残り、木目の柔らかい部分（＝夏目）は削り取られた表面加工のこと。

令和３年７月２５日には、実際の丸柱直径でコンクリート柱を富士生コンクリート㈱工場内で製作。

遠藤信義氏からの説明を受ける窪木宮司

型枠の処理の違いによる表面の出来栄えを確認した。

鹿島御児神社　一之鳥居　再建案

令和築造：新・一之鳥居イメージ
高さ及び幅は従来の鳥居と同等

昭和１０年築造
一之鳥居

鳥居は鉄筋コンクリート製

表面は木目調仕上げ
写真左：仕上がりイメージ

笠木・島木・貫の端部には
砲金で装飾
端部からの雨水侵入防止

基礎工事：掘削・捨てコンクリート（2021.8.17）

令和３年８月１７日、基礎工事が開始された。地盤強度の確保のため従来の鳥居より約２m社殿側で施工する事となった。

既設平板ブロック撤去

掘　　削

掘　　削

掘　　削（埋設電線管：街灯用電線）

掘　削　完　了

↓捨てコン

捨てコン打設状況

捨てコン打設状況

基礎工事：起工式

令和３年８月２１日、基礎工事が開始されたので祈願祭が執り行われた。

鳥居主柱位置　墨だし

ベースコンクリート打設状況

ベースコンクリート打設状況

ベースコンクリート打設完了

コンクリート材料試験用

鎮物

左主柱基礎部に奉鎮

基礎工事：埋戻（2021.8.21）

杉板本実型枠（浮造り加工済み）

主柱基礎部の円形型枠組立

主柱基礎部コンクリート打設

主柱基礎部：脱枠状況

埋戻はベースコンクリート天端から厚さ 30 ｃｍ毎に締固めを行い３層で埋め戻す。
完成後の表層仕上げは平板ブロック張付け舗装のため埋戻が不良であれば不陸が発生するので入念に仕上げる

基礎工事：埋戻（2021.8.21）

1 層目埋戻状況

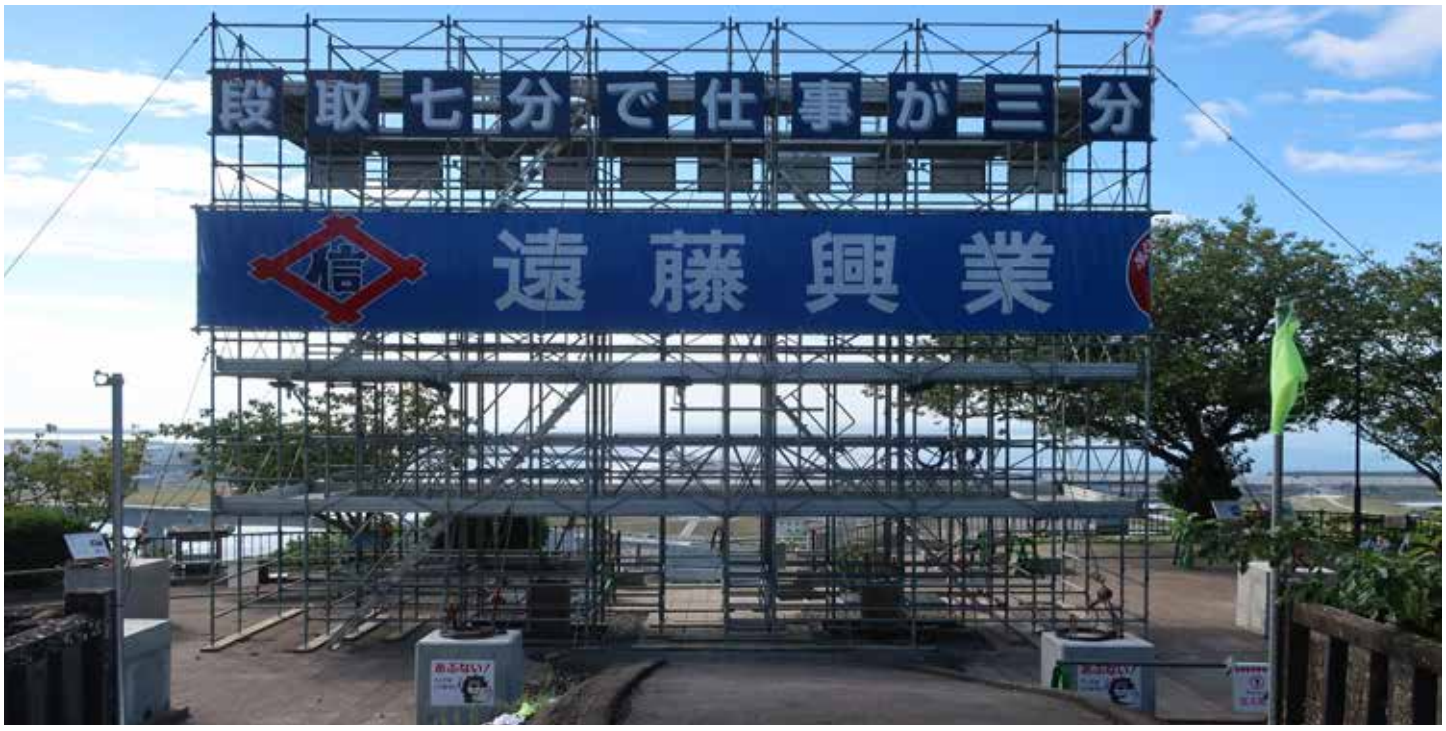
1 層目埋戻状況　埋戻材 C-40

1 層目締固め完了状況

1 層目締固め状況

埋戻完了

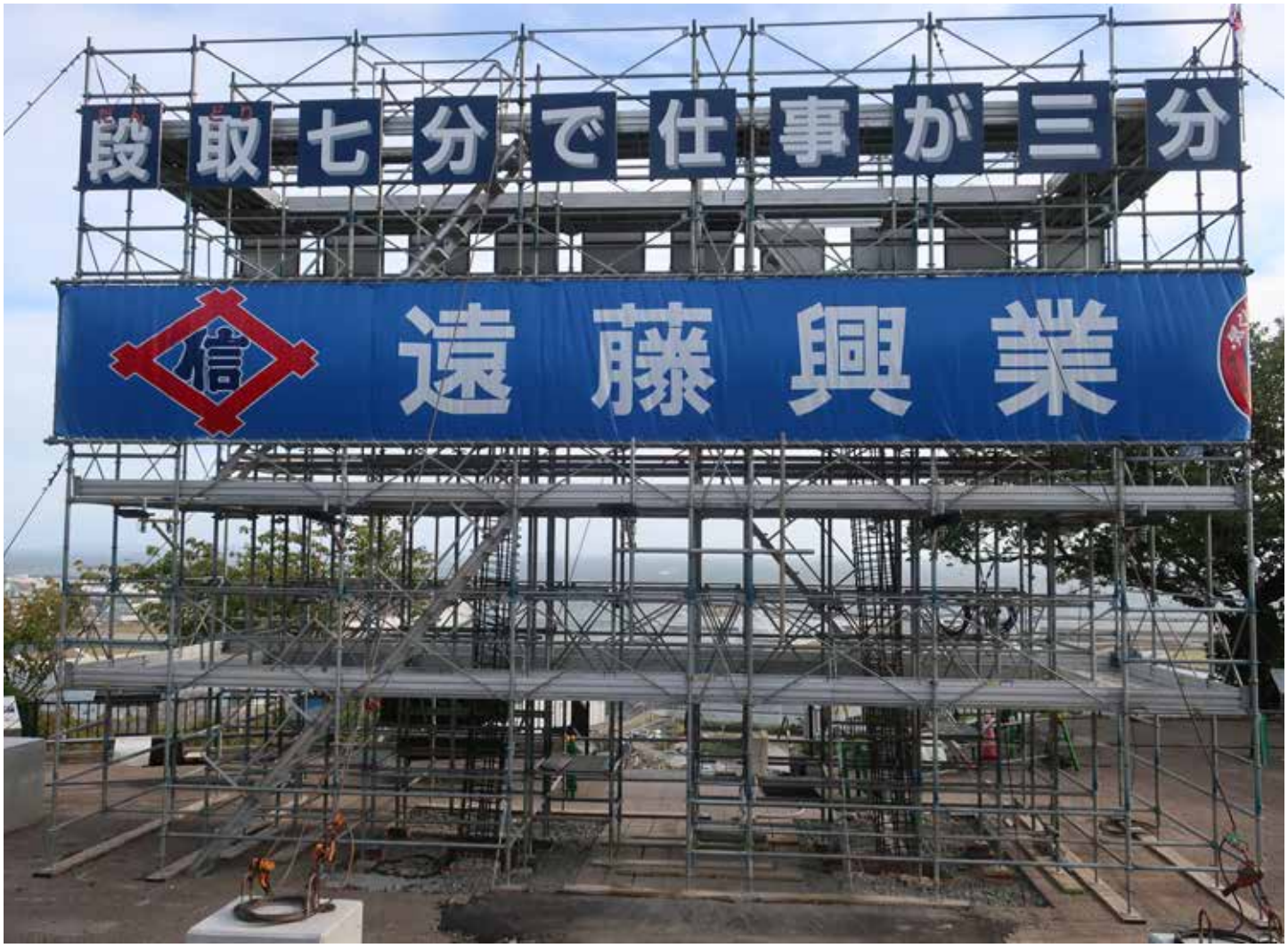
仮設工事：仮設足場設置（2021.9.17-19）



鉄筋工事：主柱（2021.9.30）

主柱鉄筋

主柱鉄筋



秋田杉を加工した型枠搬入

型枠工事：主柱型枠組立（2021.10.2）

支保工材揚重

型枠剥離剤塗布

主柱型枠建込

型枠剥離材塗布完了

主柱型枠建込

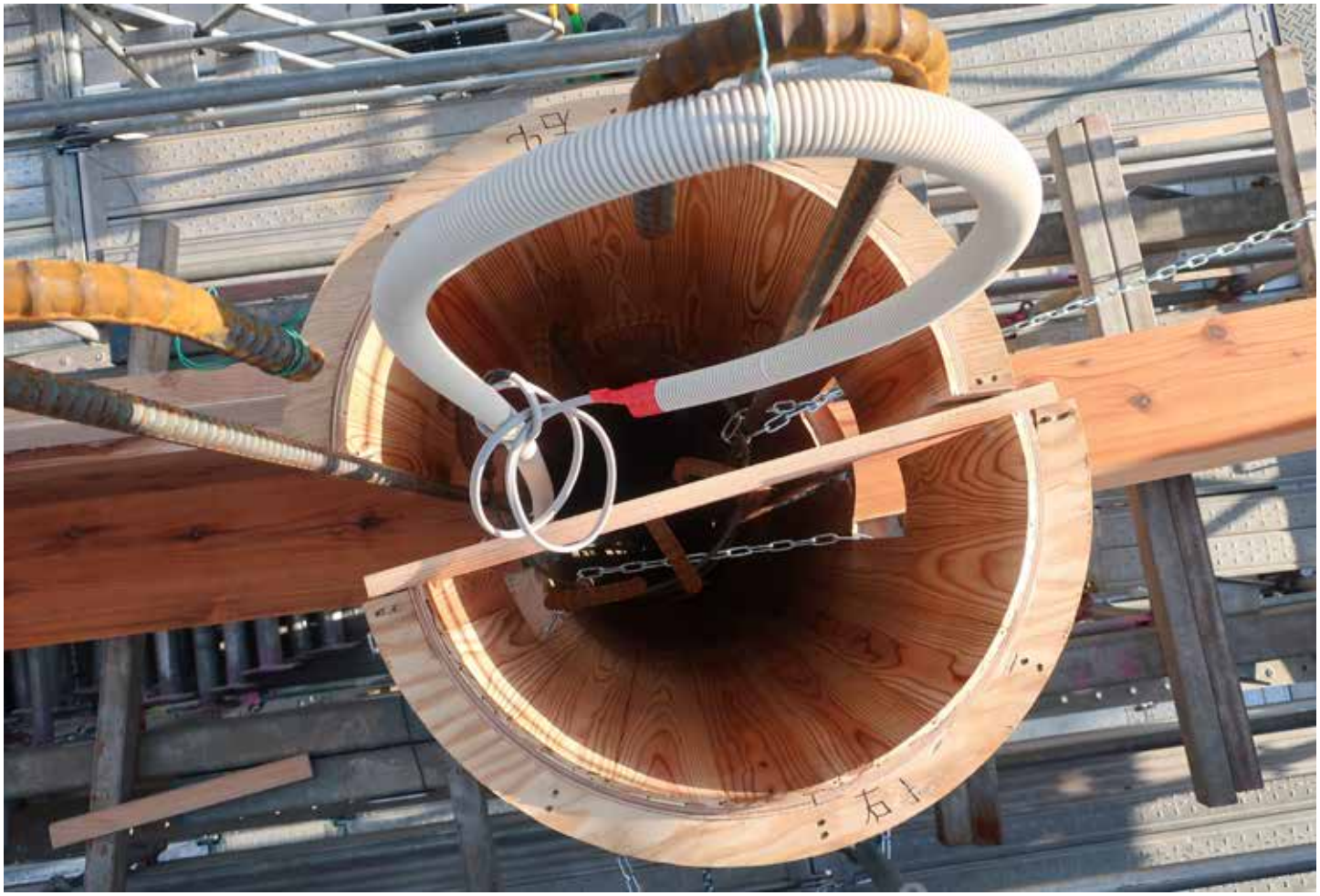
型枠工事：主柱型枠組立（2021.10.2）

貫木部型枠建込

主柱貫木部型枠建込

主柱貫木部型枠建込

主柱貫木部型枠建込


内母
右

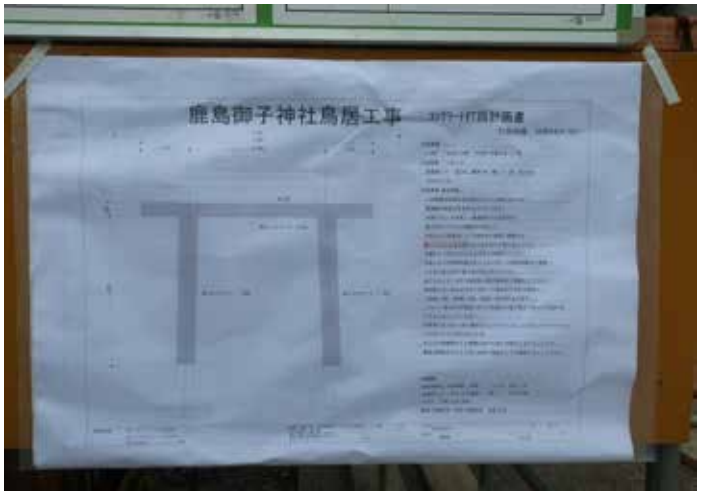
鉄筋工事：貫木部鉄筋組立（2021.10.5）

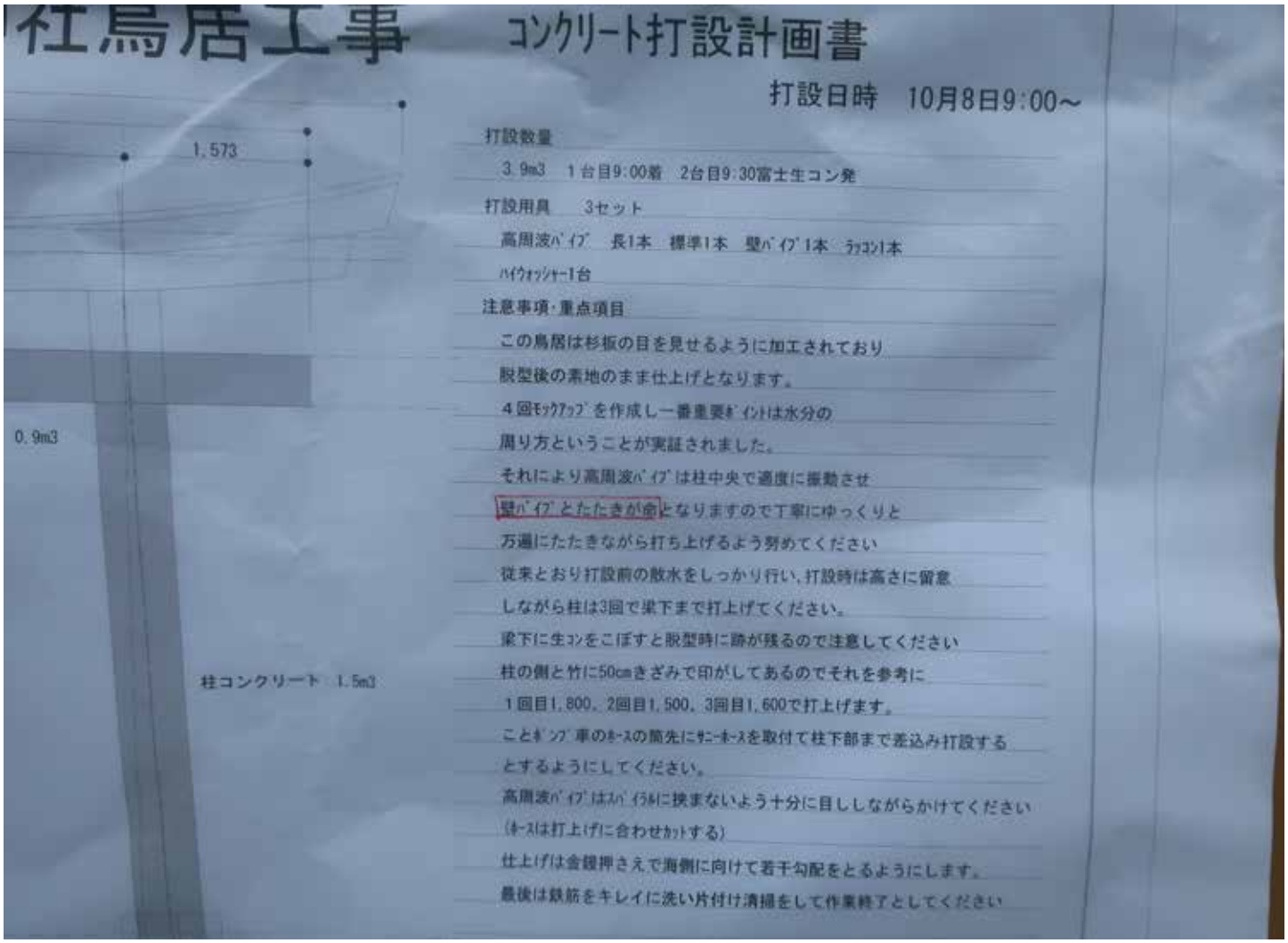
型枠工事：主柱　貫木　型枠固め（2021.10.7）

コンクリート工事：主柱（2021.10.8）

技術の継承をと遠藤会長自ら指導

コンクリート打設前施工打ち合わせ





社鳥居工事　コンクリート打設計画書

打設日時　10月8日9:00～

1,573

0.9m3

柱コンクリート　1.5m3

打設数量

3.9m3　1台目9:00着　2台目9:30富士生コン発

打設用具　3セット

高周波パイプ　長1本　標準1本　壁パイプ1本　ラッコン1本

バイブオッシャー1台

注意事項・重点項目

この鳥居は杉板の目を見せるように加工されており

脱型後の素地のまま仕上げとなります。

4回モックアップを作成し一番重要ポイントは水分の

周り方ということが実証されました。

それにより高周波パイプは柱中央で適度に振動させ

壁パイプとたたきが命となりますので丁寧にゆっくりと

万遍にたたきながら打ち上げるよう努めてください

従来とおり打設前の散水をしっかり行い、打設時は高さに留意

しながら柱は3回で梁下まで打上げてください。

梁下に生コンをこぼすと脱型時に跡が残るので注意してください

柱の側と竹に50cmきざみで印がしてあるのでそれを参考に

1回目1,800、2回目1,500、3回目1,600で打上げます。

ことポンプ車のホースの筒先にサニーホースを取付て柱下部まで差込み打設する

とするようにしてください。

高周波パイプはスパイラルに挟まないよう十分に目ししながらかけてください

(ホースは打上げに合わせカットする)

仕上げは金鏝押さえで海側に向けて若干勾配をとるようにします。

最後は鉄筋をキレイに洗い片付け清掃をして作業終了としてください

技術の継承をと遠藤会長自ら指導

コンクリート打設前に主柱型枠の斜頸しないようにワイヤーの取り方を指導する遠藤会長

主柱のコンクリート打設は直高５ｍ　直径60ｃｍ　打設中コンクリート内から空気を抜く方法として古くから伝わる工法
先を割いて竹内の節を除去した真竹を、打設中、上部からコンクリートに突き刺し空気を抜く

打設前にシミュレーション

空気抜き竹をセットした状況

コンクリート打設開始前に安全祈願とお清めをする遠藤会長

主柱部コンクリート打設開始

コンクリートは高さ 1.5 m毎に３回に分け打設

主柱・貫木部コンクリート打設完了状況

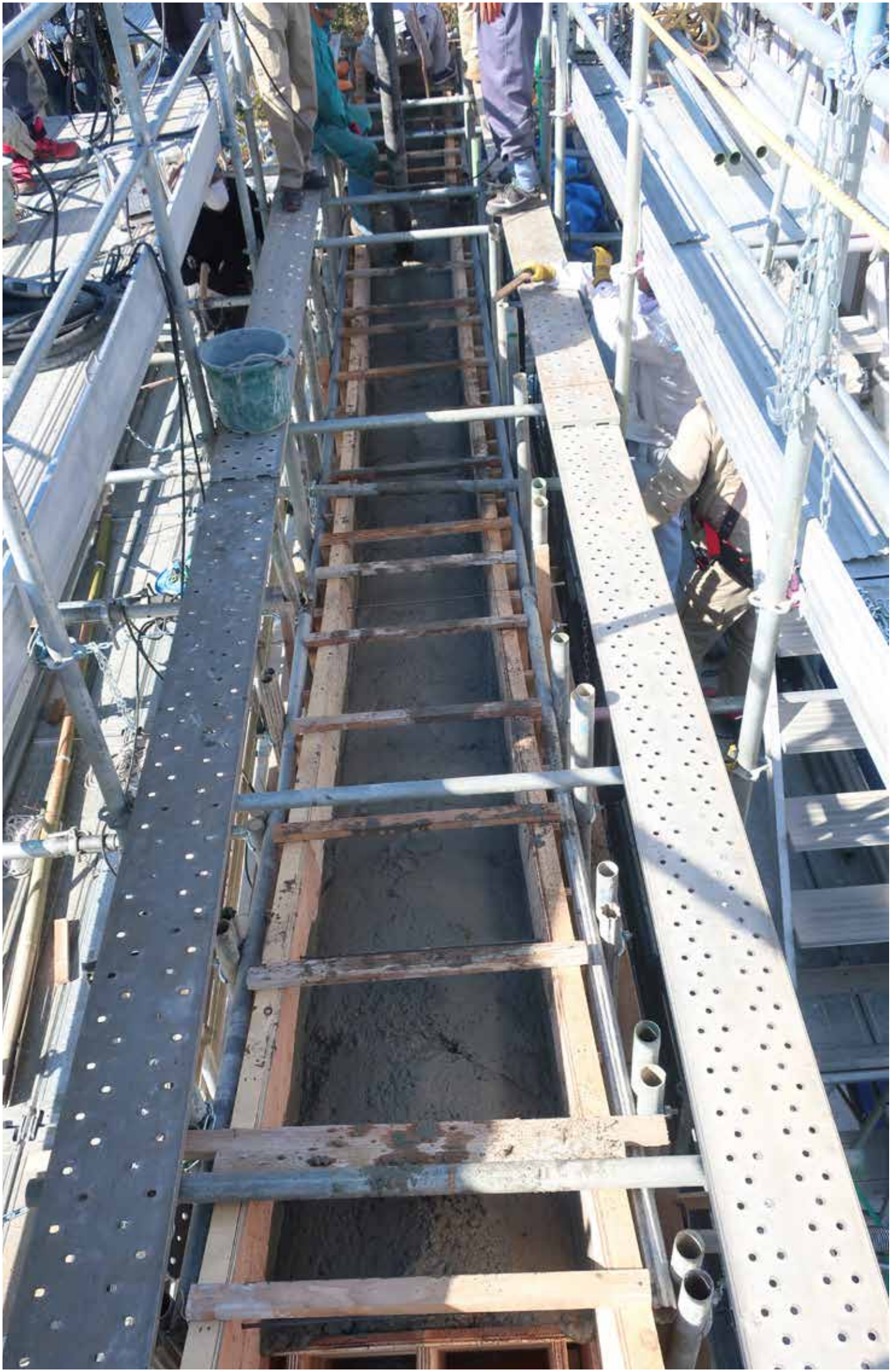
コンクリート打設完了後、型枠の膨張変化及び傾きを確認する遠藤会長

コンクリート打設完了後に、若手技術者へ技術の継承及び段取りの重要性を指導する遠藤会長

コンクリート工事：島木・笠木（主梁）（2021.10.22）

島木・笠木を一体で構築

コンクリート打設前施工打ち合わせ



鳥居の最上部にあたる笠木は、中心から両端に向けて天を仰ぐように反り増しがあり、幅も両端に向けて太くなる形状。
笠木は山型形状であるため、仕上げ左官には熟練の技がいる。

新鳥居の棟上げを祝って、笠木の上部に
「祝　令和３年１０月２２日」と刻んだ。

新鳥居の構築には、様々な伝統的な建築技法が使用された。
古き良き時代の施工方法。
どの様にしたら品質の良いコンクリート造を
建設することができるか。
コンクリートは流動性のある建材であり、
生き物である。
コンクリートを練り上げてから打設完了までの時間が
９０分と拘束されている。
生コンクリートプラントと現場の連携も重要である。
何より肝心なのは「段取り」

新しい令和の鳥居は、
現代の建築技術と多彩な実績のある経験者との融合
型枠の精度、コンクリート打設を行う作業員の力量
そして
指揮を執る技術者の見極めが「出来栄え」に反映する。

型枠解体：主柱・貫木（2021.10.30）

主柱の型枠解体、合板の内側に秋田杉を本実しているので順番に解体する

無機質なコンクリート表面に、秋田杉の木目模様が転写された

鳥居の柱と貫木の接合部

鳥居の木鼻部

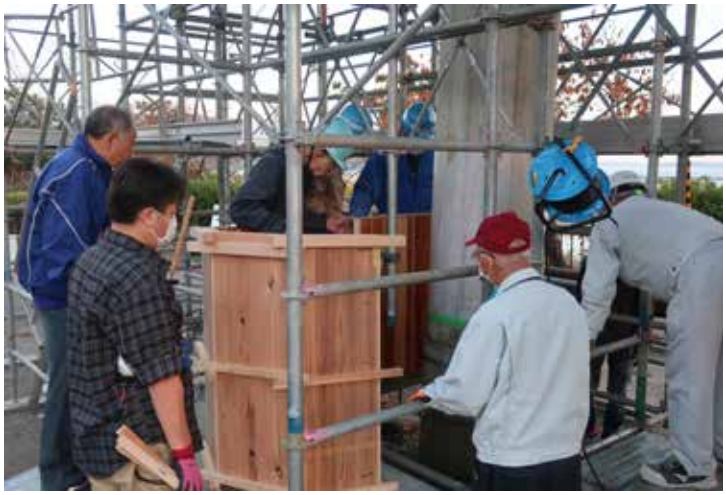
鳥居の額束部

根巻コンクリート：亀腹（2021.11.5）

主柱の根元　亀腹部の根巻コンクリート

使用する型枠は、秋田杉製　本実加工された型枠

秋田杉で製作された亀腹部の型枠



人力でコンクリート運搬・打設

基礎周辺の平板ブロックを基礎形状と同じように八角形に仕上げる

基礎周辺は黒色・白色の細砂利で樹脂舗装

亀腹部は、石巻市雄勝産の雄勝スレート１３００枚をうろこ状に張り付ける　国唯一の国選定保存技術保持者　佐々木信平代表

令和の大改修を祈念して、雄勝スレートを張り付ける窪木好文宮司

令和の大改修を祈念して、雄勝スレートを張り付ける窪木浩枝禰宜

令和の大改修を祈念して、雄勝スレートを張り付ける窪木せつ子様

令和の大改修を奉納記念として、天端雄勝スレートを加工する　４９代　窪木兼忠　元宮司

令和の大改修を奉納記念として、雄勝スレートを張り付ける　遠藤興業株グループ　遠藤信義 総帥

根巻コンクリート：亀腹（2021.11.27）

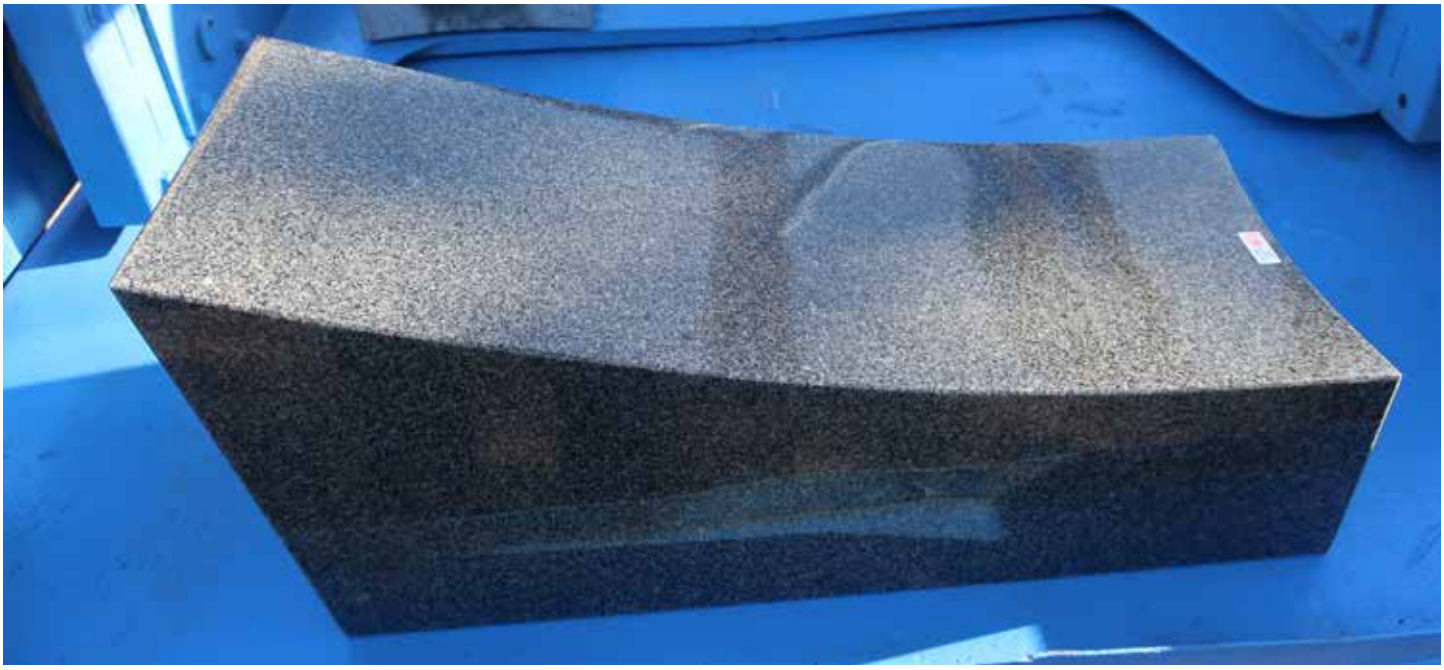
仮設足場解体撤去

参道改修：（2021.10.18 ～ 29）

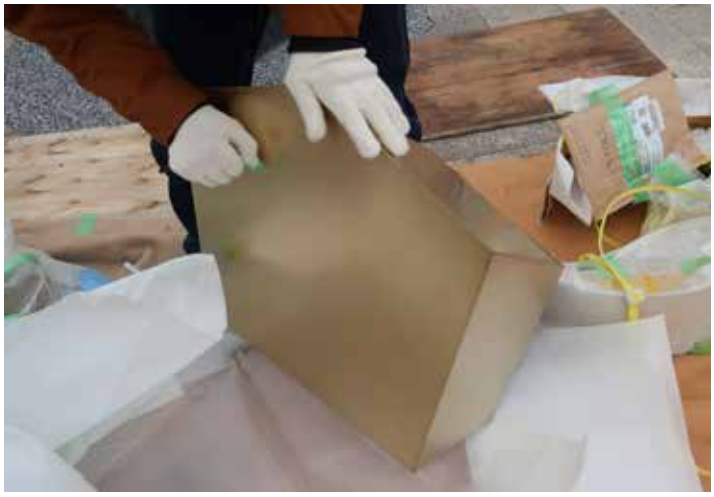
既存のコンクリート舗装を切削オーバーレイし、洗い出し舗装にする

AED

楔石取付：（2021.12.3）



加工された御影石



No. 40577

AIRMAN
ENEOS

鹿島御児神社　御神紋 「三つ割菊」

竣工式：（2021.12.12）

除幕を控えた新大鳥居

業
信

遠藤興
信

松
奉献

トイレは蓋を下って
反対側です

遠藤興業

大玉串を捧げる　遠藤興業グループ　総帥　遠藤信義氏

玉串を捧げる　元宮司（４９代）　窪木兼忠氏

遠藤興業株式会社　代表取締役　遠藤正樹氏

鹿島御児神社　責任役員　鈴木武氏

鹿島御児神社　総代長　尾形盛男氏

鹿島御児神社　副総代長　松川栄光氏

宮城県議会議員　本木忠一氏

奉賛企業代表　今野総業株式会社　会長　今野輝慶氏

鹿島御児神社から感謝状を贈られる　遠藤信義総帥

感謝状
遠藤興業グループ
総帥 遠藤信義 殿
貴殿は日頃より敬神の念篤く此
度は大鳥居建設並びに境内整備
事業に尽力され

神威の発揚に格別寄與されましたことは誠に奇特の至りであります
茲に其のご厚情に対し深く感謝の
意を表します
令和三年十二月十二日
鹿島御児神社
宮司 窪木好文

興業
信

遠藤
ない！

遠藤興業

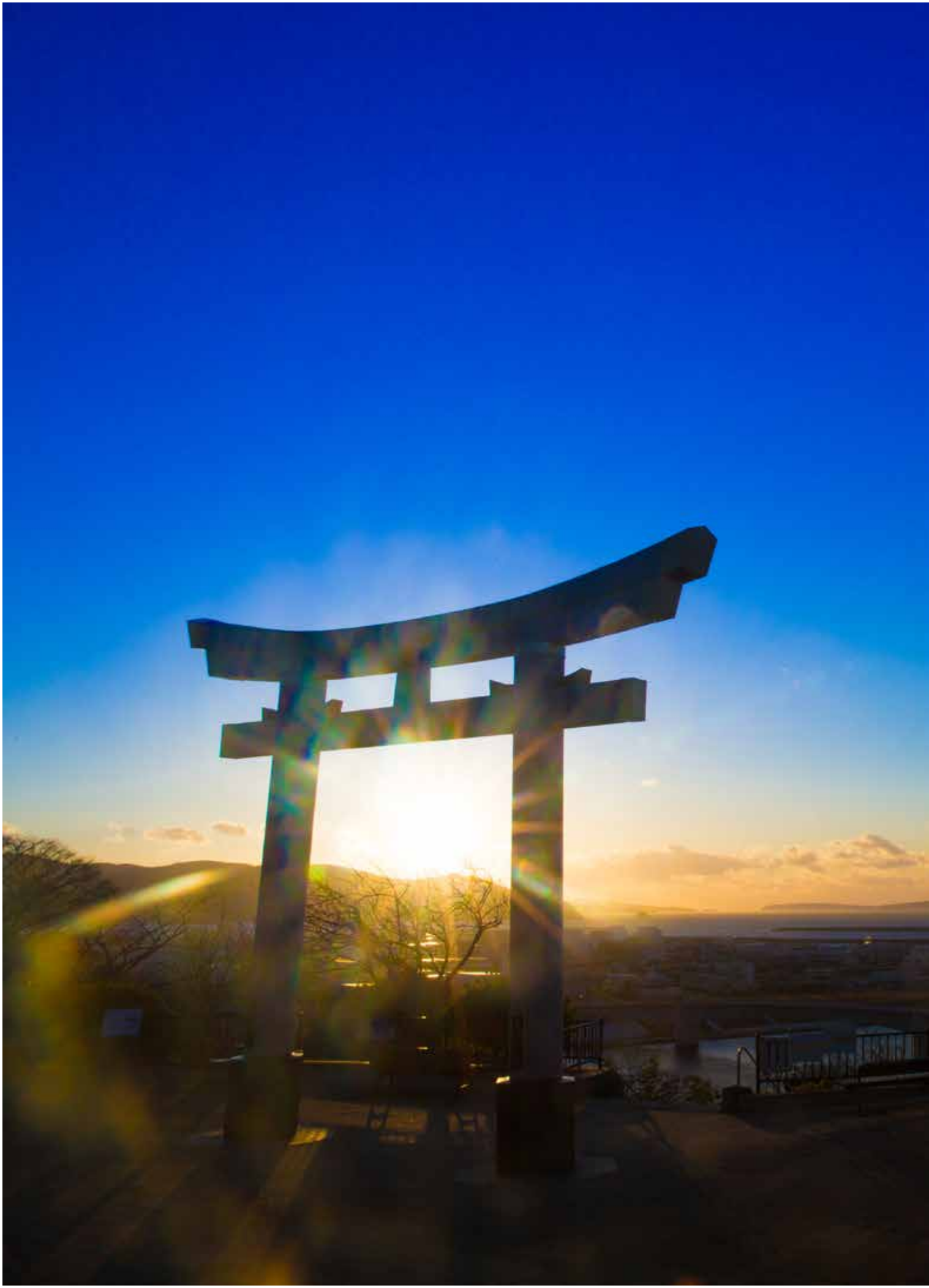
遠藤興業

遠藤興業

遠藤興業

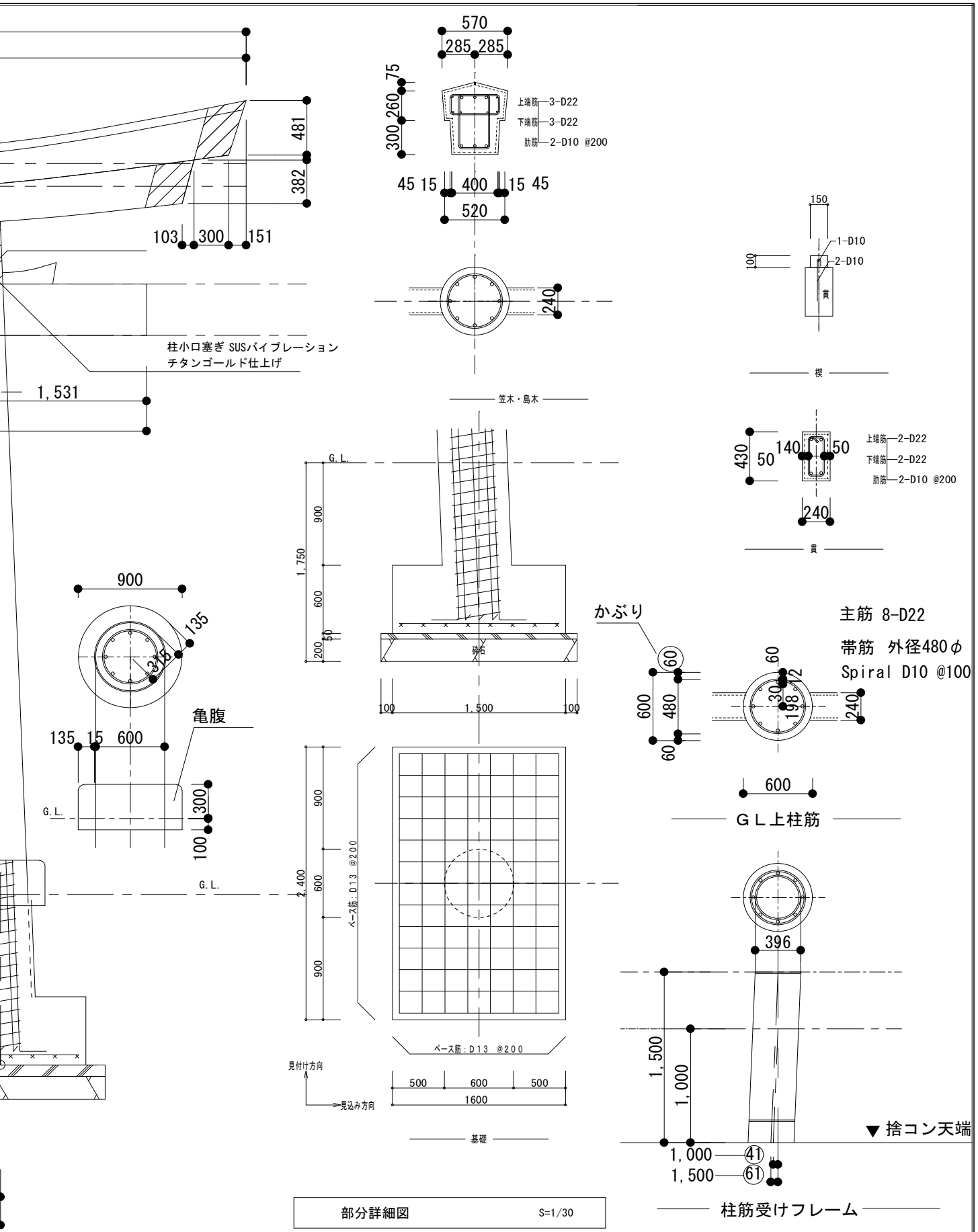
くぐり初め式

遠藤興業



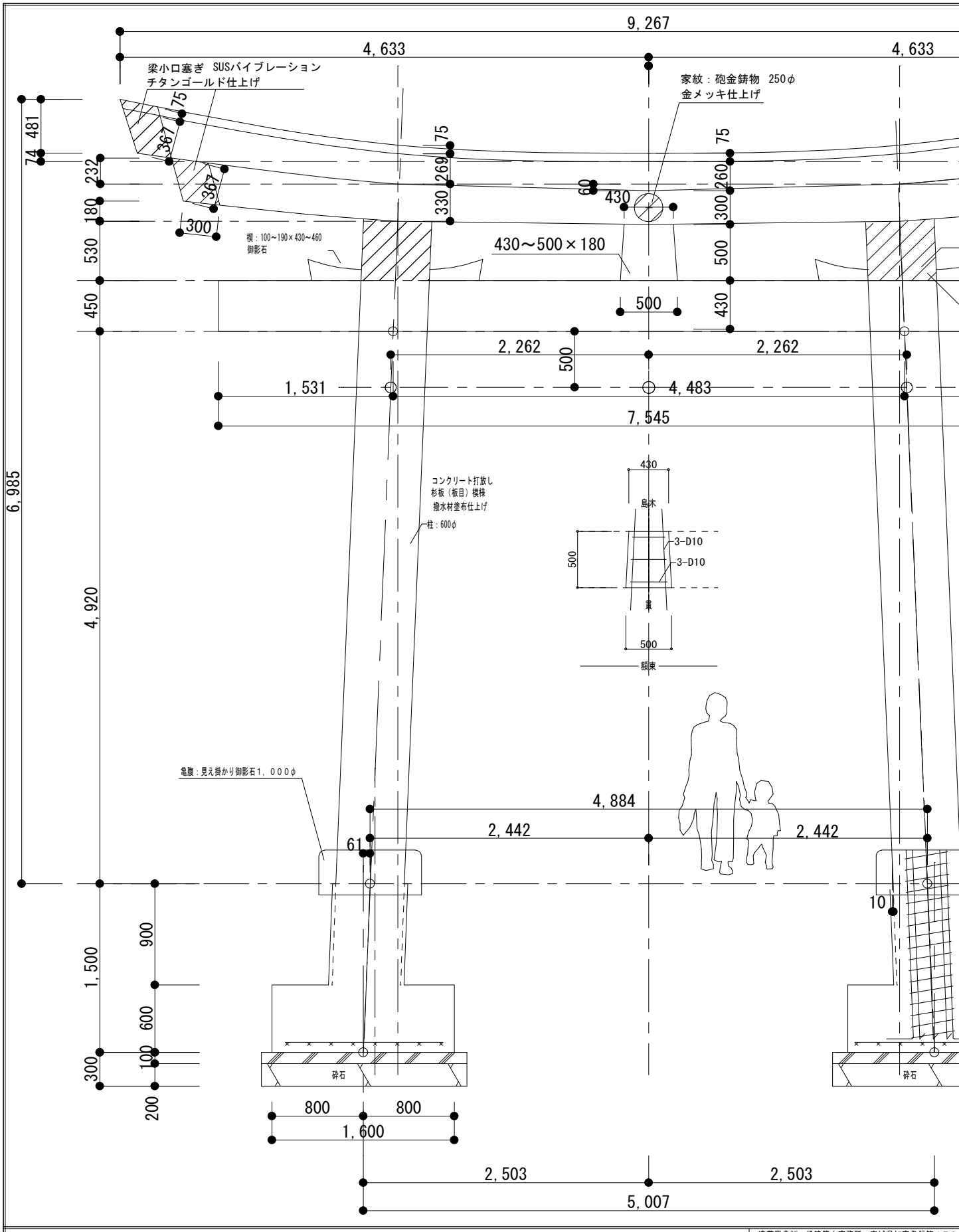
遠 藤 興

分で仕事が三分
KATO



部分詳細図 S=1/30

17010160号	設計年月日	調査	設計	工事名称 鳥居建設工事	全葉	図面 No
号	2021/05			図面名称 詳細図 Scale A2:1/30 A3:1/42		A—



使用材料等	躯体コンクリート：Ｆｃ２１Ｎ／㎜２，塩化物総量　０．３kg／ｍ３	遠藤興業㈱一級建築士事務所　宮城県知事登録第１７０
	鉄筋：Ｄ１６までＳＤ２９５，Ｄ１９以上ＳＤ３４５	担当者：一級建築士　首藤　英明
	地盤の長期許容地耐力　Ｆｅ＝５０（ＫＮ／㎡）　砂質地盤	建築士登録番号：大臣登録　第２４９５４３号
		連絡先：宮城県石巻市大街道南２丁目９番１３号
		電　話：０２２５－９５－８３３３

報本反始
神や祖先を尊敬し
心から「有難う」
遠藤興業株式会社
感謝
86年間、伝統そのままに
「祈り」と「感謝」を鳥居にこめて
鹿島御見神社 宮司
会長

令和３年５月 22 日
　一代目大鳥居　撤去作業
令和３年８月 17 日
　二代目大鳥居　着工
令和３年８月 21 日
　起工式
令和３年 11 月５日
　上棟
令和３年 12 月 12 日
　竣工式

遠藤興業と鹿島御児神社の関わり

はじめに

遠藤興業㈱は昭和４０年１０月に創業致しました。

創業当時から令和３年迄、５５年間にわたり鹿島御児神社　一の鳥居をくぐり神殿で窪木宮司様により新年安全祈願を執り行ってまいりました。

また、弊社では昭和４９年に伏見稲荷大社より正一位稲荷大明神神体勧請を相請け、創業者である遠藤興業グループ　総帥 遠藤　信義と鹿島御児神社 宮司 窪木様にて京都の大社へ出向き神璽授与されました。

毎年９月には窪木宮司　祭主をお招きをし、弊社に鎮座する正一位稲荷大明への祈願も４７年にわたり執り行っております。

一の鳥居は昭和１０年以降、様々自然災害にも耐えて参りましたが、令和３年５月１日発生した地震により、亀裂の拡大、笠木・貫木部のコンクリート剥落が発生するなど「倒壊の恐れ」を懸念しなくてはならない状態になり、総代会にて取壊しの決定をされました。

弊社では「社業の発展を通じて社会に貢献する」という経営理念に基づき、５５年間への感謝の意を込め「取壊し作業の無償提供」２代目大鳥居建設に対する奉賛を申し出ました。

遠藤興業グループ　　総　帥　　遠藤　信義

遠藤興業株式会社　代表取締役　遠藤　正樹

遠藤興業